

# ほっと連携

第31号

2019

平成31年2月25日  
発行

◆発行／北見赤十字病院地域医療連携室 北見市北6条東2丁目1番 ◆発行責任者／吉田 茂夫  
http://www.kitami.jrc.or.jp/ E-mail : renkei@kitami.jrc.or.jp



平成30年北海道胆振東部地震 当院の職員派遣状況

活動期間	派遣業務	医師	副部長 師長	係長 看護師 助産師	主事
(9/ 6~9/ 8)	救護班	1	1	2	2
(9/ 6~9/ 8)	DMAT	1		2	3
(9/ 8~9/11)	救護班	1	1	2	2
(9/ 8~9/11)	こころのケア		1	1	
(9/ 8~9/11)	医療コーディネーター	1			1
(9/11~9/14)	救護班	1	1	2	2
(9/11~9/14)	こころのケア		1	1	
(9/15~9/18)	こころのケア			1	2
(9/15~9/18)	医療コーディネーター	1		1	2
(9/17~9/20)	救護班	1	1	2	2
(9/18~9/20)	道災害医療コーディネーター ロジスティックsteam				1
(9/26~9/29)	こころのケア		2		1
(9/27~9/30)	支部現地災対本部要員				1
		7	8	14	19

2018/9/27現在

2018年9月6日(木)午前3時7分に発生した、北海道胆振東部地震。地震の規模はM6.7最大震度7を記録し、北見市は震度3でありました。胆振中東部等では土砂崩れや家屋が倒壊、北海道全域で停電となり多くの物流がストップし、復旧の目途が全く立たない状況でした。

当院においては、6日正午に日本赤十字北海道支部から常備救護班の出動命令が発せられ厚真町に派遣。また、6日16時40分にはDMAT(災害派遣医療チーム)1チームを札幌医科大学に派遣することとなった。その後も赤十字では北海道支部対策本部災害医療コーディネーター、常備救護班、こころのケア班、北海道支部管理要員を派遣し、DMATではロジスティク(業務調整員)も派遣しております。詳細は以下のとおりです。

## 平成30年北海道胆振東部地震災害救護派遣活動





# 登録医紹介

## 菅原院長先生質問コーナー

診療科：眼 科

趣味は何ですか？

—マラソン：元々長距離走は苦手ですがタイムは遅いですが、完走後の達成感と奥の深さにハマっています。

座右の銘は何ですか？

—バランスをとる：元々苦手な性格なので常に心がけようと思っておりますが、なかなか実践できておりません。



### 《1、自己紹介》

平成17年7月からの9か月間と平成21年4月から29年3月までの8年間北見赤十字病院に勤務した後、広島県福山市に転出しておりましたが、平成30年8月に故郷に戻ってきました。

これからはオホーツクの地に根を下ろし、地域の皆様の眼の健康を維持するために、微力ではありますが頑張っていきたいと考えております。

### 《2、医療連携について思うこと》

クリニックでできることなのか、総合病院のお力をお借りしなければならないことなのかの判断を迅速に行うことが大切であると考えており、その判断のもとで自分の身の丈にあった医療を最大限に地域の皆様に提供したいと考えております。

### 《3、最近の出来事からなど》

家族と共に北海道、北見を離れて生活してみて、改めて北海道の良さ、オホーツクの良さ、北見の良さを様々な視点から実感しました。高齢化が進んでいる地域ですが、だからこそ、医療が必要だと思えますし、この地域を盛り上げたいと考えております。

## 医療法人社団 眼科はっとり医院



〒090-0042 北見市北2条西4丁目14  
TEL(0157) 23-4268

理事長：服部 彰 紀

院長：菅原 亮 一

出身大学：旭川医科大学(平成9年卒)

出身地：北見市

所属学会：日本眼科学会、日本眼科手術学会、  
日本白内障屈折矯正手術学会

資格：医学博士、日本眼科学会専門医、  
PDT認定医、視覚障害者用補装  
具適合判定医師

専門分野：網膜硝子体

〈診療受付時間のご案内〉

～眼科～

	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	×
午後2:00～5:00	○	×	○	×	○	×	×

## 平成30年度 院内災害対応訓練

平成30年11月23日(金)に院内災害対応訓練を開催しました。

病院職員69名(訓練参加者49名、訓練コントローラー20名)が、北見市に巨大竜巻により約200名が被害にあわれ市内病院へ搬送されるという想定だけを訓練参加者に知らせ、詳しい内容を周知せずに実施。災害対策マニュアルに基づいてスタッフを投入、エリアリーダーはチームビルディングを行い、各スタッフに指示をだし正面玄関にトリアージエリア、本館1階アトリウムに黄色エリアリーダー班、黄色治療班を展開し患者受入を行いました。そのほかに、被災者家族、報道関係者の対応など実際に起こりうるだろう事例もありました。

最後の振り返りでは旭川赤十字病院の外部講師から、リーダーの役割やクロノロジー(物事の経過)の有効活用などのアドバイスをいただき無事訓練を終了しました。



## I&A認証施設として 認定されました



2018年11月13日付けで、日本輸血・細胞治療学会(以下、学会)の定めるI&Aの認定基準に達し認定証の交付を受けました。I&Aとは、inspection(点検)してaccreditation(認証)するシステムで、学会が推進する第三者の点検により適切な輸血管理が行われている事を客観評価し、医療施設の輸血の安全性を保証する制度です。

当院の2017年度の血液製剤使用状況は、赤血球製剤4,646単位、新鮮凍結血漿1,069単位、血漿交換数9件、血小板5,805単位、自己血70単位、アルブミン503本、FFP/MAP比0.20、Alb/MAP比0.40で輸血管理料Iと適正管理加算を取得しています。

今回、当院の輸血用血液や分画製剤の適正使用や輸血の安全性が担保されているかを検証する目的で、荒川副院長を委員長とする輸血療法検討委員会が中心となり2018年10月の審査日に向けた準備を進めました。

まず、学会ホームページにある「視察前調査票」のチェックリストの6大項目77小項目について自己チェックを行います。小項目の34の認定事項については会議議事録や実施記録が必須になるので、解釈の齟齬が無いかを事前に確認しました。受審日当日は、書類確認と現場確認が行われ、夕方前には終了しました。

今回、I&Aの認証を受けたことで、適切な輸血管理および適正使用を保証し、患者様に安心して輸血を受けていただけるよう、今後も取り組んでまいります。



# 形成外科外来紹介

形成外科第二部長 藤井 暁

形成外科の診療としては、とも診療連携を行い、他科熱傷（軟膏治療）植皮などの手術治療）、顔面外傷（上顎を中心とする顔面骨骨折、鼻骨骨折、顔面軟部組織損傷）、皮膚・皮下・軟部組織腫瘍（色素性母斑、粉瘤、脂肪腫、皮膚悪性腫瘍など）、体表の先天異常（口唇口蓋裂、多指・合指症、臍ヘルニア、耳介変形など）、難治性皮膚潰瘍（外傷性皮膚潰瘍、糖尿病性皮膚潰瘍、静脈うつ滞性皮膚潰瘍など）、瘻痕（傷跡の形成、肥厚性瘻痕・ケロイド）など小児から高齢者の患者様まで幅広い診療を行っております。

近年は、皮膚悪性腫瘍の治療や眼瞼下垂、眼瞼内反症など加齢性の疾患について力を入れており、ご評価をいただいております。重症虚血肢など血行障害による難治性潰瘍については、当院循環器内科をはじめ様々な科と連携しながら診療にあたっております。

また北海道大学形成外科



## 市民公開講座 「ストレスを知り、うまく付き合おう」

講師 武田 美恵子 看護係長  
＜精神看護専門看護師(リエゾン)＞

平成30年11月10日（土）に北館3階大会議室において、「ストレスを知り、うまく付き合おう」を精神看護専門看護師（リエゾン）の武田美恵子看護係長が講師となり開催し53名ものご参加をいただきました。

講座では、ストレスには「良いストレス」と「悪いストレス」が存在し、自らの気持ちとコントロールの仕方ですストレスの質が決まり、「良いストレス」は自分を高めていく過程に良い刺激となって関わっていき、「悪いストレス」は辛い状況のなかでも「やらなくてはならない」「頑張り続けなくてはならない」と自分を強迫的に追い込み、自らの意思とは無関係に過剰行動を続けた延長線に生じるストレスであることを話されました。

そこで上手くストレスと付き合うために、気持ちを落ち着けて、感じているストレスを軽くして、こころの力をうまく発揮できるように工夫する「ストレスマネジメント」を紹介。講師の実体験も紹介しながら、問題解決の考え方と自分の気持ちを伝えるコツを詳しく説明させていただき、どのようにすれば自分の性格を生かすことができるかを参加された皆さんにも考えてもらいました。

参加者からは、「ストレスの対処法がわかりとてもよかった」、「ストレスの多い時代に、このような講座がある事は強く生きていくために役立ちました。」など感想をいただけ好評に終わる事が出来ました。

【事業課】



## 北見赤十字病院(認知症疾患医療センター)市民公開講座 開催報告 「認知症の方への関わり」～医療・介護・福祉の立場から～

日時：平成30年11月3日(土) 14:00～15:30 (開場 13:30)  
会場：北見赤十字病院 多目的ホール「ミント」 北見市北6条2丁目1番地

今回、市民公開講座を開催致しました。当日は173名の市民・関係者の皆様にご来場いただき盛大に終えることができました。ご協力ありがとうございました。

以下、内容を報告致します。

【講演】〈座長〉北見市保健福祉部 主幹 長尾 智美氏



### 3.北見赤十字病院 精神保健福祉士 伊藤 智美

認知症治療は、早期ほど服薬で進行を遅らせることが可能。早期発見・正確な診断・適切な治療が重要。穏やかな進行により、本人の望むより良い生活を長く続ける事が可能となる。認知症の行動・心理症状でお困りの場合は専門科の医療機関にご相談下さいとお話しさせていただきました。

### 4.グループホーム 彩風 施設長 野田 隼人氏

介護保険制度におけるグループホーム（認知症対応型共同生活介護）について、詳しくご説明いただきました。中でもグループホーム彩風での支援事例が印象的でした。長く主婦として生活した方が認知症により日常生活全介助となりグループホームに入居されました。入居後、ご本人はグループホームでも家事の一部を担うことにより、生き活きとした表情が戻り、ご家族も元気だった頃のご本人の姿を見ることができ喜んだ。周囲の支え次第で、認知症になったご本人にもできることがたくさんある事を実感し、職員の良い学びとなったとお話しされました。

今後も市民の皆様の声を活かして、講演会・研修会等で情報発信していきたいと思っております。皆様のご参加をお待ちしております。 【事務局 伊藤】

### 1.高齢者相談支援センター中央 中原朋美氏

センターにおける幅広い業務から、事例に沿って認知症高齢者に関する相談業務から生活支援の実際についてお話ししました。当事者との関わりでは、高齢者の権利擁護に配慮している。また、時には危機介入の場面もあり、多岐に渡る業務であるため、常に他機関の専門職と連携しつつ業務を展開しているとお話でした。

### 2.居宅介護支援事業所 つむぎ 代表 櫻井 正志氏

ケアマネジャーの役割は、受容と傾聴をもって「話を聞く」。「アセスメント」本人のできることを見つける。「サービス調整」介護サービスの質と量と一緒に考える事。また、認知症の症状、介護力、生活環境は様々であり、誰もがなり得る認知症に多職種が関わり、相談先を増やす事が大切。住み慣れた場所で生活を継続できるような環境を作っていくお手伝いをするのがケアマネジャーの役割であると話を締めくくられました。



# CT、MRI検査に伴う各種様式の変更のお願い

余寒の候 皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より当院の業務に対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、当院の造影剤検査運用ルール、MRI検査運用ルールの変更に伴い、各種様式の内容を変更いたしました。

つきましては、新しい**造影剤検査問診票・同意書・説明書（代理人あり・なし）、MRI検査問診票・説明書・注意事項**が提示されましたので、別添のものに差し替え頂きますようお願い申し上げます。

今後とも地域医療連携にご理解、ご協力をお願い申し上げます。

**様式の変更開始日：平成31年4月1日(月)より検査申込みについて**

## CT検査、MRI検査の 申込書の様式変更について

**変更対象検査：CT検査(造影)・MRI検査(単純・造影)**

下記のとおり、必要書類をFAX送信後に患者様へお渡し頂き、検査当日持参願います。

→FAX送信先 0120-018-599

### 検査別の必要書類

様式番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
単純CT	○								
造影CT（同意書の代理人なし）	○			○	○	○			
造影CT（同意書の代理人あり）	○			○	○		○		
単純MRI		○	○					☆	☆
造影MRI（同意書の代理人なし）		○	○	○	○	○		☆	☆
造影MRI（同意書の代理人あり）		○	○	○	○		○	☆	☆

☆→患者様へお渡し願います

様式① CT依頼申込み書 →様式の変更無し

様式② MRI依頼申込み書 →様式の変更無し

様式③ MRI検査 問診票

様式④ 造影剤検査 問診票

様式⑤ 造影剤検査 説明書

様式⑥ 造影剤検査 同意書（代理人なし）

様式⑦ 造影剤検査 同意書（代理人あり）

様式⑧ MRI検査 説明書 →患者様へお渡し下さい☆

様式⑨ MRI検査を受ける際の注意事項 →患者様へお渡し下さい☆

FAXは、様式①～⑦の必要書類を送信願います。

※お手数をお掛け致しますが、各医療機関様にて印刷（コピー）のうえ使用願います。

（後日、関係医療機関様へ資料を郵送いたします）





# 外来のご案内

## 診療科目

- ★内科・総合診療科 (完全予約制)
- ★消化器内科 (完全予約制)
- 神経精神科
- 循環器内科
- 小児科
- 外科
- ★整形外科 (完全予約制)
- 形成外科
- ★ペインクリニック内科
- 脳神経外科
- 皮膚科
- ★泌尿器科 (完全予約制)
- 産婦人科
- ★眼科
- 産婦人科
- ★放射線科
- 形成外科
- 麻酔科
- ★歯科口腔外科

★：紹介状が必要です

## 休診

- 土曜日
- 日曜日
- 祝日
- 12月29日～1月3日
- 5月1日（日本赤十字社創立記念日）

## 事前予約について


紹介状を持参される患者様につきましては、患者様の受診希望日時を事前にFAXにて予約診療のお申し込みいただきますと、診察当日、待ち時間が短縮されます。ぜひご利用願います。(但し、急患の場合は各科へ直接連絡願います。)

## 診察カード

診察券は全科共通で使用いたします。ご来院時に必ずお持ち下さい。

## 保険証

健康保険証はご来院時に確認させていただいております。特に、更新・変更の際は必ずご提出下さい。



地域医療支援病院

# 北見赤十字病院

【理念】

人道・博愛に基づき、患者さまを尊重した医療を提供し、地域の期待と信頼に応えます。

【基本方針】

- 真に患者本位の医療を提供する、質の高い病院を目指します。
- 二次～三次の救急医療と高度医療の充実した病院を目指します。
- 国内外やオホーツク地域の災害・救護医療を担います。
- すべての職員が成長でき、働く満足度の高い病院を目指します。
- 健全経営を行い、医療活動を通じて地域社会に還元します。

【患者さまの権利】

- 人間としての尊厳が守られ、公平で良質な医療を受ける権利があります。
- 理解・納得できる十分な説明と情報提供を受ける権利があります。
- ご自分の意思で診療を選択し決定する権利があります。
- セカンドオピニオン（他の病院・医師の意見を聞く）を受ける権利があります。
- プライバシーを保護される権利があります。

【患者さまの責務】

- ご本人であることを確認するために、ご自身で名前をお伝え下さい。
- アレルギー歴、病歴等について出来るだけ正確にお伝え下さい。
- 医療スタッフの説明を良くお聞きになり、ご理解のうえ治療や検査などの医療行為をお受け下さい。
- 病院内では秩序を保ち、他の患者さまのご迷惑にならない様に努めて下さい。
- 医療費は速やかにお支払い下さい。
- 当院は臨床研修病院として、卒前・卒後研修教育を担っています。医療専門職の育成にご理解・ご協力下さい。

# 北見赤十字病院 診療一覧表

\*都合により担当医が変更になる場合があります。 平成31年1月22日現在

診療科	月	火	水	木	金	
内科・総合診療科	午前	永嶋 栗田 大谷	永嶋 島田 吉田(知)	吉田院長 栗田 大谷 吉田(知)	永嶋 栗田 菅原 吉田(知)	井北大血液内科 藤原(保田/古川)(月1) 島田 桑原 (昭和大出張医) (昭和大出張医) 大谷(新患) 井北大腎内(月1)
	午後	菅原 菅原(新患) 井血液内科連携予約 井血液内科連携予約 北大神経内科(月2度)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 木村	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)
消化器内科・腫瘍内科	午前	青山 林 水	江平 佐藤 藤	江平 佐藤 藤	江平 佐藤 藤	岩永 佐藤 水島
	午後	江平 佐藤 藤	江平 佐藤 藤	江平 佐藤 藤	江平 佐藤 藤	江平 佐藤 藤
循環器内科	午前	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)
	午後	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)
神経精神科	午前(新患(再来))	早坂 早坂 柏木	嶋田 嶋田 早坂 伊藤	嶋田 嶋田 早坂 伊藤	嶋田 嶋田 早坂 伊藤	嶋田 嶋田 早坂 伊藤
	午後	早坂 早坂 柏木	嶋田 嶋田 早坂 伊藤	嶋田 嶋田 早坂 伊藤	嶋田 嶋田 早坂 伊藤	嶋田 嶋田 早坂 伊藤
小児科	午前	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)
	午後	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)
整形外科	午前	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)
	午後	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)
形成外科	午前	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)
	午後	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)
脳神経外科	午前(新患(再来))	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)
	午後	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)
皮膚科	午前	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)
	午後	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)
泌尿器科	午前	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)
	午後	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)
産婦人科	午前	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)
	午後	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)
眼科	午前	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)
	午後	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)
頭頸部・耳鼻咽喉科	午前	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)
	午後	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)
放射線科	午前	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)
	午後	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)
麻酔科	午前(術前診察)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)
	午後	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)
ペインクリニック内科	午前(予約制)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)
	午後(予約制)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)
歯科口腔外科	午前	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)
	午後	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原 菅原(新患) 小野/徳原(新患)	菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患) 菅原(新患)

## H30年度 内科系3診療科オープンカンファレンス症例検討内容

題名	発表者
「PET-CTにて診断に至った心室瘤を伴う心サルコイドシスの1例」	発表者 循環器内科 石川 真一
「鞍鼻と好酸球増多症を呈した一例」	発表者 内科・総合診療科 小川 弘記
「最近経験した腸閉塞の二例」	発表者 消化器内科 青山 慶哉
「急性肝炎とネフローゼ症候群をきたした梅毒の一例」	発表者 内科・総合診療科 高屋美寿季
「B細胞性リンパ腫かT細胞性リンパ腫か、診断に苦渋した一例」	発表者 内科・総合診療科 木村 弘幸
「院外発症の難治性Vfに対し、緊急PCIを行い救命した一例」	発表者 循環器内科 甲谷 次郎
「切除不能進行胃癌診療における最近の話題」	発表者 消化器内科 岩永 一郎
「免疫チェックポイント阻害薬による下垂体機能低下症」	発表者 内科・総合診療科 桑原 咲
「大腸癌副腎転移の2症例」	発表者 消化器内科 斎藤 里佳

**北見赤十字病院 地域医療連携室** 受付時間：月曜日～金曜日 午前8:30～午後5:00迄  
 TEL0120-018-299 FAX0120-018-599  
 ご意見、ご要望がございましたら、地域医療連携室までお願いいたします。 E-mail:renkei@kitami.jrc.or.jp